



コンサートのお客様が、ブースを見学してくださっている様子！

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

私共のホームページにも掲載されておりますが、先日、今若者たちの間で大変な人気を集めております音楽グループ「SEKAI NO OWARI」の方々から、孤児院の働きに協力したい旨の、大変ありがたいおことばを頂きました。最初このお話を聞いたとき、私共のスタッフは驚きのあまり、俄かに信じることができず、実際にお会いしてはじめて事実と理解致したほどでした。また今回は私共をコンサートにも御招待くださり、さらに会場には孤児院のブースまで設けて下さり、コンサートに来られた多くの方々が孤児院のブースに立ち寄って下さり、私共の活動をご紹介させて頂くこともできました。本当に、夢と思うほどの御協力をいただき、心から感謝すると同時に、御グループのさらなる御活躍を願うばかりであります。正直、御グループの曲名、歌詞などには、私個人と致しましては、年甲斐もなく、なにか共感するところがありました。このような若い方々に、私共の働きを知って頂いた上に、ご協力していただける事ほど、嬉しいことはありません。また、子供達一人一人の命を支えて下さっているのは、ご支援して下さる皆様のお力です。どうかこれからも皆様の御協力とサポート、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。新学期を迎える準備が間に合って、子ども達は11月からそれぞれの学年で新たな学びが始まりました。休みを終える数日前に、子ども達が1年に1度とても楽しみにしている海水浴に、今年も出掛けることが出来ました。プノンペンから車で片道だけでも4時間は掛かる距離にある場所ですが、その間に見る風景もとても楽しかったそうです。前日は大雨で



海水浴で大はしゃぎの子どもたち！

したが、当日は雨から守られて1日中お天気がよくなり、たっぷりと海水浴を楽しむ事が出来ました。皆様のご支援を本当に感謝しております。また、10月1日には、2年前にもボランティアで来て下さった今井さんが、今回は約4ヶ月の滞在予定で再び来て下さいました。その間、私は久しぶりの一時帰国をさせて頂き、来年1月にはまたカンボジアに戻る予定になっています。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の礎の石フィリピン孤児院へのご支援を心から感謝致します。

先日東京事務局から、孤児院の建物を建てるのにかかる費用や運営に必要な金額の見積もりを送ってほしいという連絡がありました。いよいよ孤児院の建設に向けて動きだそうとしていくことを知って、とても興奮しています。先週金曜日10月3日、社会福祉省(DSWD)と安全管理課(SEG)を訪問し、いろいろ聞きました。全てではありませんが、いくつか必要な情報を得ることが出来ました。孤児院の建物を建てるにあたり、必要な条件の一つは



皆で集まってにぎやかな子どもたち！

40人の子どもたちが居住できる建物であることです。それに加えて、庭とリクリエーションスペースがあること、それに加えて、学校が近くにある、もしくは施設内で基礎教育を受けられること、子どもたちの安全が保障されていること等があります。孤児院の建物の建設、及び必要な施設整備にかかる金額は251,219.51ドルと見積もられています。また孤児院の運営管理に必要な毎月の運営費は5000ドルと見積もっています。このためにも、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？
皆様の日頃のご支援に感謝申し上げます。
素晴らしいニュースがあります！



制服も特別なものに
変わったフィデリス！

フィデリスが、通っている学校のプリフェクト（監督生）の一人に選ばれたのです。

プリフェクトとは、学校のそれぞれの部署において、他の生徒たちを監督し、指導する役割を持つ、非常に名誉ある役職です。制服も、一般学生とは変わり、別のものが与えられます。

学校の教師たちによって選ばれるもので、成績だけではなく、リーダーシップや登校日数、下級生への指導力等も考慮されます。

来年の1月に、遂に高校3年生になるフィデリスですが、この記録はザンビアでの将来において、就職時などに非常に有利になると言われています。

農村地帯にある孤児院学校から出発して、首都の学校で遂にここまで到達したかと感無量です。

これまでの皆様のご支援なしには至れなかった道です。本当に心より感謝申し上げます。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。先日はたくさん雨が降りましたが、またすぐに乾いてきてしまいました。さて、最近、グアラパエスの敷地の中に、事務所兼私が住める場所と、別棟で（法律で決まっているの



カンボジアスタッフの今井さんと！

だそうです）児童養護施設として使うことのできる規格にあった建物を建てるための見積もりを出しています。ブラジルでは、建物を建てる際には建築技師がついていなくてははいけません。しかし、それぞれの地方自治体によって多少の違いはあると思いますが、これを出しておけば、ブラジル国内の他の地域で児童養護施設を建てる場合にも参考になると思います。さらにご支援をどうぞよろしく願いたします。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>